# 第8章 資料編(第1期計画最終評価の詳細)

## 1 特定健診受診率向上対策・・・・・・・・・・・・・

- ・R4年度の「特定健診受診率」は、第1期計画策定時より 1.9 ポイント減少し、順位は 63 市町村中 42 位となり、目標の 60%には達しませんでした。
- 「特定健診3年間の未受診率」と「特定健診3年間の継続受診率」は、コロナ禍による受診控えの影響もあり目標には達しませんでしたが、「特定健診早期受診率\*」は増加し目標を達成しました。早期受診への効果が見られることから今後もキャンペーンを継続し、初回及び継続受診者の獲得を目指します。
- •「診療情報の提供率」は、目標の 1.5%に達しませんでしたが、健診受診率に 一定程度の貢献が見られることから、今後も継続して実施し受診率の向上を 図り、生活習慣病の早期発見や生活習慣の改善を促します。
- ※「8月までの特定健診受診率」としていましたが、新型コロナウイルス感染症が蔓延し緊急事態宣言が発出されたため特定健診開始時期が遅れ、9月~2月までの実施となったR2年度は11月までの受診、新型コロナウイルス感染症感染防止のため完全予約制とし、実施期間を6月~2月までと延長したR3~R4年度は、9月までの受診を「早期受診」としています。

# (1)特定健診 広報·啓発活動 H2O 年度~

所 属	市民生活部 医療保険課(一部委託)	
目的	持定健診の受診率向上を図る	
対象者	対象者 40 歳以上の蕨市国保被保険者	
概要 イベントでの啓発品の配布、ポスター掲示などを行う。		

指標	目標	指標の変化 H28 年度 ( ) はH29 年度 R4 年度	評価	要因	
特定健診受診率	60.0%以上	41.1%	低下	コロナ禍による受	
15亿度的文的平	(国目標)	39.2%	×	診控え	
特定健診	47.0%以下	51.4%	増加	コロナ禍による受 診控え	
3年間未受診率	47.0%以下	53.4.%	×		
特定健診	30.0%以上	26.5%	低下	コロナ禍による受	
3年間継続受診率	30.0%以上	23.8%	×	診控え	
特定健診	40.0%以上	34.5%	増加	早期受診キャンペーンによる効果 コロナ禍による受	
早期受診率	+0.0%以上	43.6%	0		
特定健診に相当する結果提供による特定健	1 5 0 0 0	(1.39%)	低下		
診受診率への貢献度 (本人・医療機関・職場)	1.5%以上	0.73%	×	診控え	

# 図表 56 特定健診 広報・啓発活動の推移

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5		
特定健診 受診率(%)			41.1	44.4	46.6	45.6	40.0	38.7	39.2	未定
1	1 啓発品	作成	0	0	0					0
		配布	0	0	0		0			0
		健康まつりでの啓発	0	<b>%</b> 1	0	0	<b>%</b> 1	<b>%</b> 1	<b>%</b> 1	0
	イベント・会	市内大型店舗・祭り等で啓発		0	0					
2	議での啓発	他市との合同啓発			<b>②</b>					
		地域女性団体連絡協議会総会 での啓発	0	0	0	0	<b>※</b> 1	<b>%</b> 1	<b>※</b> 1	
3	広報蕨に掲載	6月号に特集記事(R2は9月)	0	0	0	0	0	0	0	0
3		7月号以降に記事 (R2は10月~)		0	0	0	0	0	0	0
		被保険者証更新時にチラシ同封	0	0	0	0	0	0	0	0
4	チラシの配布	国保の納税通知書発送時に チラシ同封	0	0	0	0	0	0	0	0
5	蕨市	ホームページへの掲載	0	0	0	0	0	0	0	0
6	蕨ケーブルTV	の活用(職員等出演・テロップ)	0	0	0	0	0	0	0	0
		公共施設	0	0	0	0	0	0	0	0
		市内医療機関			0	0	0	0	0	0
		市内循環バス	0	0	0					
		市内の掲示板	0	0	0	0	0	0	0	0
7	ポスターの 掲示	薬局・大型マンション			0		0	0	0	0
	193.	金融機関							0	0
		スーパーマーケット							0	0
		コンビニエンスストア							0	
		蕨駅エレベーター			0	駅工し	ノベー	ター内	の掲え	示不可
8	町会回覧板で	公民館報に掲載依頼	0	0	0	0	0	0	0	0
	の啓発	単独チラシを作成		0	0	0	<b>%</b> 2	<b>%</b> 2	<b>%</b> 2	0
9	受診券の工夫 受診券に過去3年間の健診結果 を掲載		0	0	0	0	0	0	0	0
10	リーフレット の工夫	受診券同封リーフレットの カラー化	0	0	0	0	0	0	0	0
(11)	受診券の封筒	持参物を掲載	0	0	0	0	0	0	0	0
	の工夫	外国語を表記		0	0	0	0	0	0	0
12	① 職員の「受けよう健診」バッジ着用			0	0	0	0			0
13	X (IB Twit	ter) での啓発 (8月、9月)								0

- ※1 開催中止のため啓発なし
- ※2 感染症拡大防止のため回覧板の使用が原則中止となったため配布中止
- ●平成29年7月22日(土):ボランティア・市民活動見本市:ポスター等を掲示し、ブースに来た方に説明を行った。
- ②平成30年6月16日(土):市民活動見本市:ポスター等を掲示し、ブースに来た方に説明を行った。
- ❸・平成30年10月18日:前川・上青木地域包括支援センター主催(協力:川口市)の「わくかでは、イベントのアンケートにて藤市国保と回答した方にティッシュ配布
  - ・平成 30 年 10 月 24 日:川口市国保医療課と合同で蕨駅東口階段下にてティッシュ配りを 実施した。

#### 【令和5年度作成:特定健診のポスター】



特定健診のポスターは、 市内の掲示板での掲示や、 医療機関、薬局、金融機関 大型マンションなどに 配布し活用しました

# (2) 特定健診 受診勧奨通知 H23 年度~

所 属	市民生活部 医療保険課(委託で実施)			
目的	特定健診の受診率向上を図る			
対象者	当初受診券を送付した人のうち、発送時点で未受診者の人			
	特定健診の未受診者に対して、年度で2回受診勧奨通知を送付。平成23年度か			
概要	ら平成 29 年度までは直営で作成していたが、平成 30 年度からは委託にて作			
	成。過去の健診受診歴や年齢・性別ごとに内容を工夫し、開封率が高くなるよう			
	圧着ハガキを使用して送付。			

#### 評価指標

### アウトプット

7125				
H28	1回目 2,254 人			
ПZО	2回目2,552人			
H29	1回目 9,294 人			
П29	2回目8,569人			
H30	1回目8,671件(8,671世帯、11,430人)			
пзи	2回目9,542件(9,542世帯、10,448人)			
R1	1 回目 8,482 件			
KI	2回目9,763件(9,763人)			
R2	1回目8,288件(8,288世帯、10,736人)			
KΖ	2回目8,621件(8,621人)			
R3	1回目7,651件(7,651世帯、8,666人)			
KO	2回目 6,998件 (6,998人)			
R4	1回目 7,719件(7,719世帯、8,447人)			
	2回目 5,829 件 (5,829 世帯、7,236 人)			
DE	1回目7,737件(7,737世帯、8,432人)			
R5	2回目5,868件(5,868世帯、7,373人)			

#### H28年度

• 発送数

≪1回目≫年度末に40.45.50.55.60.65.70歳を 迎える人に送付

≪2回目≫年度末に43.48.53.58.63.68.73歳を 迎える人に送付

#### H29 年度

世帯毎に「40~50歳代」、「60~70歳代」に分けて送付 (年齢は世帯員のうち、3月末年齢が低い方を基準)

#### H30 年度

- ≪1回目≫3タイプ(①過去3年間の継続受診者②過去3年間のまだら受診者③過去3年間の経年度未受診者) に分けて通知を作成し送付
- ≪2回目≫2タイプ (①過去3年間の継続受診者と過去3年間のまだら受診者②経年度未受診者) に分けて通知 を作成し送付

#### R1年度~R2年度

- ≪1回目≫4タイプ(①2人以上特定健診対象者がいる世帯②①を除いた過去3年間の継続受診者③①を除いた 過去3年間のまだら受診者④①を除いた過去3年間経年度未受診者)に分けて通知を作成し送付
- ≪2回目≫2タイプ(①過去3年間の受診者②過去3年間未受診者)に分けて通知を作成し送付

### R3年度~R5年度

- ≪共 通≫高齢者や色弱者等全ての人に正しく伝えられるようユニバーサルデザインに配慮した通知を作成 携帯電話から受診券の再交付申請を簡易に行えるよう QR コードを付記
- ≪1回目≫3タイプ(①前年度受診ありのまだら受診者②前年度受診なしのまだら受診者③過去5年間連続未受 診者)に分けて通知を作成し送付
- ≪2回目≫1タイプ、世帯毎に連名で通知を作成し送付

#### アウトカム

• 特定健診の受診率の伸び

【長期目標】受診率:60.0%以上

	受診率	前年比
H28	41.1%	+0.1%
H29	44.4%	+3.3%
H30	46.6%	+2.2%
R1 45.6%		<b>-1.0%</b>
R2 40.0%		<b>-</b> 5.6%
R3 38.7%		<b>-1.3%</b>
R4 39.2%		+0.5%
R5 未定		未定



# (3)特定健診 電話勧奨 H30年度~

所 属	市民生活部 医療保険課(委託で実施)				
目的	特定健診の受診	②率向上を図る			
	双战 20 年度	特定健診の受診券(当初)を送付した人のうち、電話番号が分か			
	平成 30 年度 	る70歳未満の人で3年間まだら受診または3年間未受診の人			
		特定健診の受診券(当初)を送付した人のうち、電話番号が分か			
対象者	令和元年度	る 70 歳未満の人で 3 年間まだら受診(H29、H30 連続受診を			
		除く)または3年間未受診の人			
	令和2年度~	特定健診の受診券(当初)を送付した人のうち、携帯電話の番号			
	令和5年度	が分かる人			
	平成 30 年度~	~令和元年度:オートコールシステムを利用して受診勧奨を実施			
	令和2年度~令和5年度:携帯電話のショートメッセージサービス(SMS)を				
概要	利用して受診勧奨を実施				
		(R5年度から現在の健康状態、特定健診の受診意			
		向のアンケートを併せて実施)			

## 評価指標

# アウトプット

・H3O・R1: 勧奨率(委託業者によるオートコールで架電した人のうち、接続に成功

し、勧奨できた割合)

<ul><li>R2~R5:送信率(送信できた割合)</li></ul>				
Н30	対象者 4,233 件(5,053 人) (固定 3,201 件、携帯 1,032 件) ※繋がらなかった場合、3回目まで架電			
	勧奨率    1 回目:46.0%、2 回目:10.0%   3 回目:7.4%			
R1	対象者 3,318 件 (固定 2,673 件、携帯 645 件) ※繋がらなかった場合 2 回目まで架電 勧奨率 1 回目:67.2%、2 回目:4.3%			
R2	対象者 1,945 件(携帯) ※送信できなかった場合に2回目を送信 送信率 1回目:90.0% (1,750 件) 2回目:1.7% (33 件)			

#### アウトカム

特定健診の受診率の伸び 【長期目標】受診率:60.0%以上

	受診率	前年比
H28	41.1%	+0.1%
H29	44.4%	+3.3%
H30	46.6%	+2.2%
R1 45.6%		<b>-</b> 1.0%
R2 40.0%		<b>-</b> 5.6%
R3	38.7%	<b>—</b> 1.3%
R4	39.2%	+0.5%
R5 未定		未定

#### ≪参考≫R5年9月 SMS 勧奨送付文

【蕨市国民健康保険からのお知らせ】(送信専用) ★特定健診の実施期間終了まで残り1ヵ月です★ 蕨市では、がんや心臓病、脳卒中等の生活習慣病 の早期発見·予防の目的で特定健診を実施しています。生活習慣病は自覚症状がほとんどないこと もあり、40歳以上の死因の約6割を占めます。受 診期限は令和5年10月31日までです。受診券を 紛失された方は「蕨市電子申請・届出サービス」 又はお電話で再発行が可能です。既に受診済みの 場合は行き違いですのでご容赦ください。

※送信できなかった場合に2回目を送信

合計(1 · 2回): 95.5%(2,338件)

※11 月送信後、健診受診を確認できない者

には再送信。更に11月の1回目で送信でき

〈11月〉

送信率

〈1月〉

対象者 2,449 件

対象者 2,036 件

#### 評価指標

## アウトプット

〈11月〉

対象者 2,192 件

※送信できなかった場合に2回目を送信

送信率

1回目:91.1%(1,997件) 2回目:11.8%(23件)

合計(1 · 2回): 92.2%(2,020件)

**R3** 

〈1月〉

対象者 1,966 件

※11 月送信後、健診受診を確認できない者 には再送信。更に11月の1回目で送信でき

なかった場合は2回目を送信

送信率

1回目:92.8%(1,825件) 2回目:20.6%(29件)

合計(1 · 2回): 94.3%(1,854件)

なかった場合は2回目を送信 送信率

R4

1回目:95.7%(1,948件) 2回目: 22.7%(20件)

1回目:94.0%(2,303件)

2回目:24.1%(35件)

合計(1 · 2回): 96.7%(1,968件)

〈7月〉

対象者 1,995 件

※送信できなかった場合に2回目を送信

送信率

1回目:93.8%(1,872件) 2回目:15.4%(19件)

合計(1 · 2回): 94.8%(1,891件)

(9月)

**R5** 

対象者 1,495 件

※7月送信後、健診受診を確認できない 者には再送信。更に9月の1回目で送信

できなかった場合は2回目を送信

送信率

1回目:97.1%(1,451件) 2回目:29.5% (13件)

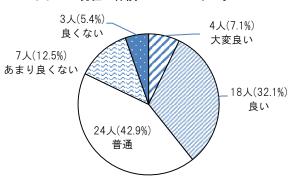
合計(1 · 2回): 97.9%(1,464件)

### 〈R5年度特定健診受診意向アンケート結果〉

· 対象者 R5年7月特定健診SMS勧奨対象者

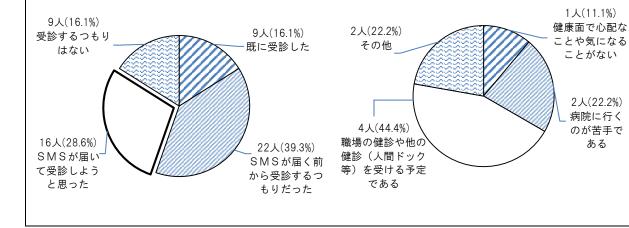
· 対象数 1,995 人 ·回答数 56 人 回答率 2.8%

1. あなたの現在の体調はいかがですか。



#### 2. R5年度の特定健診を受診する予定ですか。

3. 2で「受診するつもりはない」と回答した方にお 伺いします。その理由は何ですか。(複数回答可)



## (4) 特定健診 早期受診キャンペーン H29年度~

所属	市民生活部 医療保険課			
目的	継続受診者・	継続受診者・初回受診者の獲得と健診終了間際の混雑緩和		
	平成 29 年度	40歳以上の蕨市国保被保険者のうち、特定健診を8月までに受		
	~令和元年度	診した人で、「3年以上継続」もしくは「初めて受診」した人		
	令和2年度	40 歳以上の蕨市国保被保険者のうち、特定健診を 11 月までに		
対象者		受診した人で、「3年以上継続」もしくは「初めて受診」した人		
刈多日	令和3年度	40歳以上の蕨市国保被保険者のうち、特定健診を9月までに受		
	令和 4 年度	診した人で、「3年以上継続」もしくは「初めて受診」した人		
	令和5年度	40歳以上の蕨市国保被保険者のうち、特定健診を8月までに受		
		診した人で、「3年以上継続」もしくは「初めて受診」した人		
概要	対象者の中から抽選で蕨市オリジナルグッズをプレゼントする			

#### 評価指標 アウトプット アウトカム • 抽選対象者数、当選者の数 ・3年以上継続または初めて受診した人のうち、 早期受診期間に受診した人の割合 抽選対象者数 当選者 【長期目標】40.0%以上(P48: 図表 44) H29 1,889 人 300 人 早期受診割合 早期受診期間 1,689 人 H30 300 人 6~8月 H29 42.6% 1,394 人 300 人 R1 6~8月 38.1% H30 R2 1.655 人 300 人 R1 41.1% 6~8月 1,050 人 300 人 R3 9~11月 R2 66.2% 1,092 人 300 人 R4 **R3** 6~9月 38.6% **R5** 823 人 300 人 R4 6~9月 43.6% R5 6~8月 未定

### 【令和5年度作成:受診券送付時に同封したリーフレットにキャンベーンの内容を掲載】



# (5) 特定健診以外の健診結果の提供 H25年度~

	<u>-</u>
所属	市民生活部 医療保険課
月的	職場の健診や自費で人間ドックを受診した人の特定健診の項目を満たす健診結
目的	果を特定健診のデータとして登録し、特定健診の受診率向上を図る
対象者	特定健診以外の健診で受診した健診結果を持つ特定健診未受診者
・特定健診の項目を満たす職場の健診結果や、自費で受診した人間ドックの	
概要	を受診者が市に提供し、その健診結果を特定健診データとして登録する
	・平成 29 年度以降は、提供者に対し蕨市オリジナルグッズをプレゼントする

## 評価指標

# アウトプット

・提供者数、オリジナルグッズ

	提供者数	オリジナルグッズ
H29	60 人	スプレー醤油
H30	85 人	ランドリーバッグ
R1	65 人	トートバッグ
R2	74 人	サコッシュ
R3	71 人	エコバッグ
R4	67 人	コットンバッグ
114	07 /	ハンカチタオル
R5	未定	トートバッグ

### アウトカム

• 特定健診受診率 (法定報告) への貢献度 【長期目標】15%以上

	法定報告 登録者	法定報告 対象者	貢献度
H29	55 人	10,864 人	0.51%
H30	81 人	10,407 人	0.78%
R1	55 人	10,113 人	0.54%
R2	69 人	10,180 人	0.68%
R3	57 人	9,964 人	0.57%
R4	20 人	9,484 人	0.21%
R5	未定	未定	未定









ランドリーバッグ

トートバッグ

サコッシュ



エコバッグ

コットンバッグ& ハンカチタオル



トートバッグ

# (6) 医療機関からの診療情報の提供(診療情報提供事業) H28 年度~

所 属	市民生活部	医療保険課(~元年度:一部委託、令和2年度~:直営)
	生活習慣病で治	治療歴のある人の診療情報を特定健診のデータとして登録し、特定
目的	健診の受診率向	り上を図る
	生活習慣病で図	医療機関に受診しているなどの理由で特定健診未受診の人
	平成 28 年度	
	~	通院中の医療機関:県内のみ
対象者	令和元年度	
	令和 2 年度	
	$\sim$	通院中の医療機関:県外も含む
	令和5年度	
	平成30年度 令和元年度	・対象者に通知を送付し、同意のもと医療機関が保有している診療情報(特定健診の項目に相当する検査項目)を医療機関から県医師会経由で市に提供していただく。その情報を特定健診データとして登録する
		・県医師会と委託契約を結び、データ化などを委託し実施
概要	令和2年度	・対象者に通知を送付し、同意のもと医療機関が保有している診療情報(特定健診の項目に相当する検査項目)を医療機関から
	$\sim$	市に提供していただく。その情報を特定健診データとして登録
	令和5年度	する ・医療機関と協定を結び、手数料の支払いを行う
	• 平成 29 年度	とととなる。   といいない   といいないない   といいない   といいないない   といいないないないない   といいないないないないないない   といいないないないないないないないないない   といいないないないないないないないないないない   といいないないないないないないないないないないないないないない   といいないないないないないないないないないないないないないないないないないない

# 評価指標

- アウトプット
- 提供数
- 発送数

	提供数	発送数		
H28	136 件	2,326 件		
H29	97 件	2,063 件		
H30	59 件	1,866 件		
R1	88 件	1,836 件		
R2	67 件	2,405 件		
R3	25 件	1,937 件		
R4	32 件	1,673 件		
R5	未定	未定		
ツナロジナル b . ブは DOO (C) ト日共				

※オリジナルグッズは P83(5)と同様

## アウトカム

・診療情報の提供率 【長期目標】10.0%以上

	提供率		提供率
H28	5.8%	R2	2.8%
H29	4.7%	R3	1.3%
H30	3.2%	R4	1.9%
R1	4.8%	R5	未定

・特定健診受診率(法定報告)への貢献度 【長期目標】1.5%以上

	法定報告 登録者	法定報告 対象者	貢献度
H28	120 人	11,382 人	1.05%
H29	96 人	10,864 人	0.88%
H30	57 人	10,407 人	0.55%
R1	87 人	10,113 人	0.86%
R2	63 人	10,180 人	0.62%
R3	22 人	9,964 人	0.22%
R4	32 人	9,484 人	0.34%
R5	未定	未定	未定

# (7) 職場からの健診結果の提供 R2年度~

所	属	市民生活部 医療保険課
目的		特定健診の項目を満たす職場の健診を受診した人の健診結果を特定健診のデー
		タとして登録し、特定健診の受診率向上を図る
対	象者	職場の健診結果を持つ特定健診未受診者
		•特定健診の項目を満たす職場の健診結果を職場から提供を受け、その健診結果
概要		を特定健診データとして登録する
		・当該健診受診者に対し蕨市オリジナルグッズをプレゼントする

#### 評価指標 アウトプット アウトカム • 提供者数、依頼先 • 特定健診受診率 (法定報告) への貢献度 【長期目標】1<u>.5%以上</u> 提供者数 依頼先 法定報告 法定報告 R2 21 人 蕨市人事課 貢献度 登録者 対象者 22 人 R3 蕨市消防本部 R2 19 人 10,180 人 0.19% 蕨市社会福祉協議会 R4 18 人 21 人 **R3** 9,964 人 0.21% 蕨商工会議所 未定 0.18% 17 人 9,484 人 R4 ※オリジナルグッズは P83(5)と同様 未定 未定 **R5** 未定

# (8) 39歳の人への特定健診事前案内通知 R2年度~

所属	市民生活部 医療保険課
	40~50 歳代の特定健診受診率が著しく低いことから、次年度に 40 歳を迎え
目的	る被保険者に対して事前案内通知を送付することで、特定健診の受診の意識付け
	と定着化を図る。
対象者	次年度に 40 歳を迎える国民健康保険被保険者
	・次年度に 40 歳を迎える国民健康保険被保険者に対し、毎年3月に特定健診事
概要	前案内通知を送付し、併せて禁煙を促す通知も送付している。特定健診の検査
城安	項目や受診の大切さなど図や画像を使用し、分かりやすく案内している。令和
	4年度からは、特定健診の受診意向等の簡単なアンケートを実施している。

評価指標				
アウトプット	アウトカム			
<ul><li>送付数</li><li>送付数</li></ul>	<ul><li>・送付者の内、翌年度の健診等受診者 【長期目標】中間評価時に未設定</li></ul>			
R2 195 人 R3 212 人	送付 年度 受診者数 受診率 前年比			
R4 226 人	R2 35 人 17.9% -			
1.44   220 70	R3 39 人 18.3% +0.4%			
禁煙支援通知も同封して送付	R4 未定 未定 未定			
	※受診率は受診者数を送付数で除した割合			

#### 評価指標

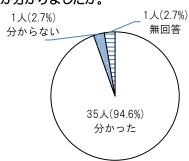
## アウトプット

#### 〈R4年度39歳の人への特定健診事前案内通知アンケート結果〉

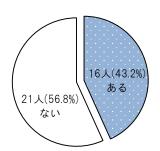
- ・対象者 R5年度に初めて特定健診の対象となる人(令和5年度末年齢40歳の人で国保加入者)
- · 対象数 226 人
- · 回答数 37 人
- ·回答率 16.4%
- 1. 「特定健診のお知らせ(事前案内)」を受け取る 前からご自身がR5年度より特定健診を受診できる ことを知っていましたか。



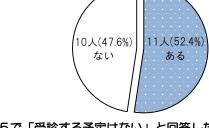
2. 「特定健診のお知らせ(事前案内)」を読んで健診の必要性が分かりましたか。



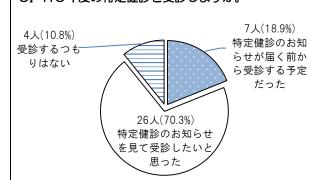
3.蕨市では30代の方を対象に"30代健診"を 行っています。今までに受診したことがありますか。



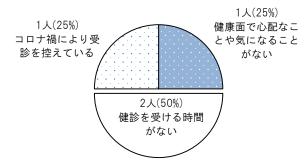
4.3で「ない」と回答した方にお伺いします。 30代以降、"30代健診"以外の健診(例えば職場の健診や医療機関での健診等)を受診したことがありますか。



5. R5年度の特定健診を受診しますか。



6.5で「受診する予定はない」と回答した方にお伺いします。その理由は何ですか。(複数回答可)



#### 〈特定健診事前案内通知〉











# 

指標	目標	指標の変化 H28 年度 R4 年度	評価	要因
特定保健指導	60.0%以上	5.5%	増加	事業の委託により参加し
実施率	(国目標)	15.8%	Δ	やすい体制が整ったため
特定保健指導	10.0%以下	13.7%	改善	   特定保健指導の効果
出現率	10.0%以下	13.1%	Δ	付任体度18等の次本

<sup>※</sup>第1期計画策定時より改善したが、長期目標を達成できなかったものを△と表している。

# (1)特定保健指導 広報·啓発活動 H2O 年度~

所 属	健康福祉部 保健センター
目的	特定保健指導の普及・啓発及び実施率向上を図る
対象者	特定健診対象者、特定保健指導対象者
概要	<ul><li>・広報蕨やケーブル TV など、より多くの人の目に触れるような特定保健指導の 啓発活動を実施する</li><li>・特定健診を受診した際に、腹囲等の基準値を超えた人には、医療機関より特定 保健指導の案内を実施する</li></ul>

### 評価指標

## アウトプット

#### • 特定保健指導利用者数

	当該年度 健診結果	前年度 健診結果	合計
H28	28 45 人 0 人		45 人
H29	44 人	0人	44 人
H30	43 人	0人	43 人
R1	26 人	19 人	45 人
R2	53 人	0人	53 人
R3	37 人	39 人	76 人
R4	52 人	58 人	110 人
R5	未定	未定	未定

※利用者数は初回面接終了者数です。 ※R3 年度から特定保健指導を委託

## アウトカム

• 特定保健指導実施率の伸び(法定報告)

【長期目標】実施率:60.0%以上

	実施率	前年比		実施率	前年比
H28	5.5%	-2.0%	R2	13.0%	+9%
H29	6.7%	+1.2%	R3	14.6%	+1.6%
H30	7.1%	+0.4%	R4	15.8%	+1.2%
R1	4.0%	-3.1%	R5	未定	未定

※R3 年度から特定保健指導を委託

#### 図表 57 特定保健指導 広報・啓発活動の推移

		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
特定保健指導 実施率(%)		9.4	7.2	7.5	5.5	6.7	7.1	4.0	13.0	14.6	15.8	未定
1	広報蕨に掲載	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	蕨ケーブルTVの活用 (職員等出演・テロップ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	リーフレットを配布 (健診受診案内送付時)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

# (2) 特定保健指導 案内兼勧奨通知 H2O 年度~

所属	健康福祉部 保健センター				
目的	特定保健指導の実施率向上を図る				
対象者	特定保健指導対象者				
柳西	・特定健診の結果から特定保健指導の対象となった者に特定保健指導の案内兼勧				
概要	奨通知を送付する。				

# 評価指標

# アウトプット

### アウトカム

#### ① 通知を送付すべき者に送付できたか。

	当該年度 健診結果	前年度 健診結果	合計	通知 送付率
H28	704 人		704 人	100%
H29	702 人		702 人	100%
H30	789 人		789 人	100%
R1	676 人		676 人	100%
R2	401 人		401 人	100%
R3	300 人	215 人	515 人	100%
R4	335 人	164 人	499 人	100%
R5	未定	未定	未定	未定

・特定保健指導実施率の伸び(法定報告) 【長期目標】実施率:60.0%以上

	実施率	前年比
H28	5.5%	-2.0%
H29	6.7%	+1.2%
H30	7.1%	+0.4%
R1	4.0%	<b>-3.1%</b>
R2	13.0%	+9%
R3	14.6%	+1.6%
R4	15.8%	+1.2%
R5	未定	未定

② 初回面接を終了した人数

	当該年度 健診結果	前年度 健診結果	合計
H28	46 人	0人	46 人
H29	44 人	0人	44 人
H30	46 人	0人	46 人
R1	26 人	19 人	45 人
R2	53 人	0人	53 人
R3	37 人	39 人	76 人
R4	52 人	58 人	110人
R5	未定	未定	未定

※R3 年度から特定保健指導を委託

#### ③ ②の内、最終評価を終了した人の割合

	初回面接終了者 (再掲)	最終面接終了者	割合
H28	46 人	41 人	89. 1%
H29	44 人	43 人	97. 7%
H30	46 人	42 人	91. 3%
R1	45 人	42 人	93. 3%
R2	53 人	50 人	94. 3%
R3	76 人	70 人	92. 1%
R4	110 人	100 人	90. 9%
R5	未定	未定	未定

# (3)特定保健指導 電話勧奨 H3O年度~

所 属	市民生活部 医療保険課 (H30 年度~R2年度)、健康福祉部 保健センター							
目的	特定保健指導の	実施率向上を図る						
対象者	特定保健指導該	当者のうち、電話番号が分かる人						
	平成 30 年度 令和元年度	〈11 月〜翌年1月に対象者であることが判明した人〉 医療保険課の事業委託によりオートコールシステムにて利用 勧奨を実施。H3O 年度は特定保健指導の利用意向調査も実施。 〈2月以降、対象者であることが判明した人または、 オートコールシステムでの勧奨の際にアンケートに受診予定 もしくは未回答だった人(H3O 年度のみ)〉 保健センター職員による架電にて利用勧奨を実施。						
概要	令和2年度	〈11月~翌年1月に対象者であることが判明した人〉 医療保険課の事業委託により携帯電話のショートメッセージ サービス(SMS)にて利用勧奨を実施。 〈2月以降対象者であることが判明した人〉 保健センター職員による架電にて利用勧奨を実施。 (R3.2月~5月)						
	令和3年度~	特定保健指導の案内兼勧奨通知を送付後、特定保健指導に申し込 まなかった人に対して、保健センターの事業委託により、専門職 (管理栄養士や保健師等)から電話による勧奨を実施。						

評価指標								
アウトプット	アウトカム							
①委託業者によるオートコールや SMS で架電し	・特定保健指導実施率の伸び							
た人のうち、接続に成功し、勧奨できた人数	【長期目標】実施率:60.0%以上							
②職員が架電した数 ③委託業者が架電した数	実施率 前年比							
① 女	H28 5.5% -2.0% H29 6.7% +1.2%							
H30   〈勧奨者〉491 人(78.9%)	H29 6.7% +1.2% H30 7.1% +0.4%							
② 89 人	R1 4.0% -3.1%							
①〈対象者〉644 人   R1   〈勧奨者〉494 人(76.7%)	R2 13.0% +9%							
② 628 人	R3 14.6% +1.6%							
①〈対象者〉235人	R4 15.8% +1.2%							
R2   〈勧奨者〉228 人(97.0%)  ② 362 人	R5 未定 未定							
② 140 人	※R3 年度から特定保健指導を委託							
R3   ③〈対象者〉332 人								
<b>│                                    </b>								
R4 3 〈対象者〉433 人 〈勧奨者〉287 人(66.3%)								
R5 ③ 未定								
※1 ②職員が架電した数は、繋がらなかった場合や								
不在であった場合を含みます。 ※2 ③対象者は、委託業者が架電した全数で、勧奨者								
然と ③対象有は、安託集句が未電した主致 (、観楽句は直接対象者に勧奨できた数を言います。								

# (4)特定保健指導 再勧奨通知 R3年度~

所 属	健康福祉部 保健センター (委託)
目的	特定保健指導の実施率向上を図る
対象者	特定保健指導該当者のうち、特定保健指導の申し込みをしていない人
概要	•電話勧奨後も特定保健指導の申込みがない人に対して、再勧奨通知を送付する。

#### 評価指標 アウトプット アウトカム ① 再勧奨通知送付割合 • 特定保健指導実施率の伸び 【長期目標】実施率:60.0%以上 当該年度 前年度 健診 健診 合計 割合 実施率 前年比 結果 結果 R3 14.6% +1.6%100% 117 人 117人 R3 15.8% +1.2%R4 R4 144 人 51 人 195 人 100% R5 未定 未定 **R5** 未定 19 人 未定 未定 ※R3 年度から特定保健指導を委託

# (5)特定保健指導 オリジナル講座の開催 H21~R3年度 廃止

所属	健康福祉部 保健センター
目的	特定保健指導の実施率向上を図る
対象者	特定保健指導該当者
概要	・令和元年度まで特定保健指導への興味を促す講座を実施。令和2年度は感染症拡大防止のため未実施。令和3年度から特定保健指導の委託実施により廃止。

### 図表 58 特定保健指導のオリジナル講座の内容・時期

		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
特定保健指導実施率(%)		9.4	7.2	7.5	5.5	6.7	7.1	4.0	13.0	14.6
参	参加者延べ人数(人)		82	118	104	99	99	35	未実施	
	内容	生活習慣の見直し、運動・食事について								
	初回面接時に実施			1~3月			1~4月	1月		
時	初回面接約1か月後に 実施	2~3月					3~ 5月	2月	未実施	廃止
期	初回面接1か月後・ 6か月後に実施			2~ 9月					, , , , , , ,	
初回面接1か月後・3 か月後に実施					2~	6月				

# (6) 特定保健指導 初回面接終了キャンペーン

H27年度~ R2年度、R4年度~

所 属	健康福祉部 保健センター
目的	特定保健指導の実施率向上を図る
対象者	初回面接終了者
概要	•令和元年度まで特定保健指導の初回面接を終了した人にスポーツクラブの一日招待券を、令和2年度は「ストレッチ用の手ぬぐい」をプレゼント。令和3年度は特定保健指導の委託実施により廃止したが、令和4年度に再開し、「ストレッチ×トレーニンググリップチューブ」を、令和5年度には「エアなわとび」をプレゼント。令和6年度からは、初回面接終了後のインセンティブとして実施する

# (7)特定保健指導 最終評価後のインセンティブ R3年度廃止

所 属	健康福祉部 保健センター			
目的	特定保健指導の実施率向上を図る			
対象者 最終評価終了者				
概要	・健康グッズ等をプレゼントし、健康づくりの継続を促す			

	評価指標						
	アウ	トプット			-	アウトカム	
<ul><li>最終面</li></ul>	面接を終了した	人全員に配布	できたか	• 特定	保健指導実施	拖率の伸び	
	配布数	配布割合		【長期	目標】実施	率:60.0%以	以上
R3	75	100%			実施率	前年比	
				H30	7.1%	+0.4%	
				R1	4.0%	-3.1%	
				R2	13.0%	+9%	
				R3	14.6%	+1.6%	
				R4	15.8%	+1.2%	
				R5	未定	未定	
				※R3 年	度から特定係	保健指導を委託	

# (8) 特定保健指導見込み者への健診前通知 H30年度~

所属	市民生活部 医療保険課
目的	特定保健指導の対象者の減少を図る
対象者	前年度特定保健指導対象者(動機付け支援、積極的支援)のうち特定保健指導未
刈家田	利用の人で当該年度の特定健診対象者
	•特定健診実施前に、前年度に特定保健指導の対象者になっていたことや個別の
	健診結果を記載した通知を送付し、健診までに生活習慣の改善をするよう改善
概要	策を記載し、特定保健指導の対象者の減少を目指す
	<ul><li>特定保健指導の内容を記載し、今年度も対象になった場合は参加していただく</li></ul>
	よう勧奨する

	評価指標									
	アウトプット						アウト	·カ/	Z	
• 発送	数				• 特定	保健指導対象	象者の出現率			
	発送数		発送数		【長期目標】10.0%以下					
H30	578 人	R3	317 人			出現率	前年比		出現率	前年比
R1	585 人	R4	256 人		H30	15.0%	+1.4%	R3	12.5%	<b>-1.3%</b>
R2	542 人	R5	224 人		R1	13.6%	-1.4%	R4	13.1%	+0.6%
	ı				R2	13.8%	+0.2%	R5	未定	未定
Ì										<u> </u>

# 3 糖尿病性腎症重症化予防対策 • • • • • • • • • • • • • •

・糖尿病性腎症又は糖尿病の重症化のリスクが高い未治療者及び治療中断者の「治療の開始率」は、第 1 期計画策定時より 9.2 ポイント増加しましたが、長期目標は達成できませんでした。令和 4 年度からは治療中の患者のうち重症化するリスクの高い通院患者への保健指導も開始し、専門職によるきめ細やかな支援を実施しています。また、後期高齢者医療に移行した際も切れ目のない支援を実施するために「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」の事業とも連携できる体制を整えています。糖尿病は重症化すると様々な合併症により個人の生活の質が著しく低下し、人工透析に移行すると医療費が増大するため、今後も重症化予防の取り組みが必要です。

指標	目標	指標の変化 H29 年度 R4 年度	評価	要因
糖尿病未治療者 の治療の開始率	30.0%以上	19.7%	増加	通知等による受診勧奨だ けでは、行動変容に繋が
(※)	30.070以上	28.9%	Δ	りにくいため。

(※) 第1期計画策定時には「平成29年度の評価をもとに検討」としていた指標

# (1) 未受診者・治療中断者への受診勧奨 H29年度~

所属	市民生活部 医	療保険課(R4 年度から委託にて実施)			
目的	糖尿病などの悪	糖尿病などの悪化を予防し人工透析の導入を遅らせ、医療費の抑制を図る			
	平成 29 年度 ~ 令和元年度	前年度の特定健診のクレアチニンの検査値をもとに推算した eGFR 値が 60ml/分/1.73 ㎡未満で、前年度中に糖尿病、慢性腎 臓病及び糖尿病の疑いのレセプトがない者			
	令和2年度	KDBの「介入支援対象者一覧」画面から出力されるCSVデータを使用し、「糖尿病性腎症対象者の概数把握手順」に基づいて抽出した糖尿病あり(空腹時血糖 126 mg/dl 以上または HbA1 c 6.5%以上または糖尿病治療中、過去に糖尿病薬治療歴あり)の者のうち、糖尿病治療がない者			
対象者	令和3年度	・KDBの「介入支援対象者一覧」画面から出力されるCSVデータを使用し、「糖尿病性腎症対象者の概数把握手順」に基づいて抽出した糖尿病あり(空腹時血糖 126 mg/dl 以上または HbA1 c 6.5%以上または当年度に糖尿病に該当するレセプトは発生あり)の者のうち、糖尿病治療がない者・健診未受診者のうち、過去のレセプトに糖尿病病名あるいは糖尿病性腎症病名がある治療中断者			
	令和 4 年度	R3 年度特定健診等の結果が HbA1c6.5%以上だが、R3 年度治療 歴がない者または、R3 年度健診受診がなく、R2 年度以降糖尿病の 治療歴ありだが、R3 年度以降治療中断している者			
	令和 5 年度	R4 年度特定健診等の結果が HbA1c6.5%以上で、R4 年度治療歴がない者または、R4 年度健診受診がなく、R3 年度以降糖尿病等の治療歴ありだが、R4 年度以降治療中断している者			
概要	する ・医療機関受診 ・通知発送後、 ・通知発送の3	関を受診し治療を開始、または再開するよう記載した勧奨通知を送付時に勧奨通知を持参し、必要な治療を開始する 未受診者に対し再勧奨電話を2回行う。(R2年度のみ) か月後に勧奨通知対象者の受診状況を確認し、受診の確認ができない 門職が電話による受診勧奨を行う(R4年度から)			

	フ	アウトプット			アワ	フトカム	
• 発送率	区 対象者	全てに発送		• 治療	の開始率		
	発送数	備考		【長期	目標】30.0%以	<u> </u>	
H30	140 人	前年度の対象者は除く			治療開始者	開始率	
R1	204 人	過去の対象者は除く		H30	37 人	26.4%	
R2	37 人			R1	59 人	28.9%	
R3	128 人			R2	11 人	29.7%	
R4	38 人			R3	43 人	33.6%	
R5	31 人		1	R4	11 人	28.9%	
	1		J	R5	未定	未定	
				-	•		

# (2) 保健指導 R4年度~

所属	市民生活部 医療保険課(委託で実施)
目的	糖尿病などの悪化を予防し人工透析の導入を遅らせ、医療費の抑制を図る
÷+6	下記①~⑤の条件にすべて該当する者 ①蕨市国保の資格を有している者 ②年齢が20歳以上75歳未満の者 ③令和3年度以降のレセプトの傷病名欄に「糖尿病性腎症」「糖尿病」「糖尿病性網膜症」「糖尿病性神経障害」の記載があり、投薬等の治療行為がある者 ④糖尿病性腎症の病期が第2期以上相当の者(検査値は令和2年度以降) ⑤蕨戸田市医師会内の医療機関のかかりつけ医から推薦が得られた者
対象者	下記①~⑤の条件にすべて該当する者 ①蕨市国保の資格を有している者 ②年齢が20歳以上75歳未満の者 ③令和4年度以降のレセプトの傷病名欄に「糖尿病性腎症」「糖尿病」「糖尿病性網膜症」「糖尿病性神経障害」の記載があり、投薬等の治療行為がある者 ④糖尿病性腎症の病期が第2期以上相当の者(検査値は令和3年度以降) ⑤蕨戸田市医師会内の医療機関のかかりつけ医から推薦が得られた者
概要	<ul> <li>保健指導対象者に、参加勧奨通知の送付、医療専門職からの電話勧奨を行う</li> <li>糖尿病性腎症重症化予防指導プログラム(埼玉県版)を参考に、かかりつけ医及び患者本人の同意を得て、医療専門職が年4回の保健指導(新規支援)を実施する(対面・電話・ICTによる)</li> <li>保健指導は、かかりつけ医の糖尿病保健指導指示依頼書に基づき食事や運動など生活習慣の改善について参加者自身が考え実践できるように支援する。保健指導後は、保健指導の内容をまとめたアドバイスシートを作成し、参加者、かかりつけ医に送付することでかかりつけ医と情報の共有を図る</li> <li>保健指導(新規支援)終了者のうち同意した者には、その後2年間の継続支援として年2回の保健指導を実施する(対面・電話による)</li> </ul>

## 評価指標

# アウトプット

## アウトカム

- 保健指導通知送付率(新規支援)
- 電話勧奨実施率(新規支援)

	送付数	送付率	電話勧奨実施率
R4	33 人	100%	70.0%
R5	42 人	100%	71.4%

〈保健指導対象者宛の通知〉



•保健指導実施率(新規支援) 【長期目標】未設定

	対象者	参加者	実施率
R4	33 人	13 人※	39.4%
R5	42 人	14 人	33.3%

※参加者中1人中途辞退

#### 

- •「ジェネリック医薬品の数量シェア」は、計画策定時より 11.1 ポイント増加 し、長期目標の80.0%(国目標)を達成しました。80%以上を維持できる よう、適宜見直しを図りながら今後も事業を継続して実施します。
- 「重複服薬の通知を送付した者の翌年の減少率」は、令和 4 年度は 65.6%と 高く、長期目標の 40.0%を達成しました。
- 今後も事業を継続し医療費の適正化に努めます。

指標	目標	指標の変化 H28 年度 ( ) はH30年度 R4 年度	評価	要因
ジェネリック	80.0%以上	70.1%	向上	田畑にトフが田
医薬品の 数量シェア	(国目標)	81.2%	0	周知による効果
重複服薬の通知を	40.00/151.1	(22.2%)	向上	
送付した者の翌年 の減少率 (※)	40.0%以上	65.6%	0	周知による効果

(※) 第1期計画策定時には「平成29年度の評価をもとに検討」としていた指標

# (1) ジェネリック医薬品差額通知 H25年度~

所 属	市民生活部 医療保険課(委託で実施)
目的	ジェネリック医薬品に関する正しい知識を啓発し、利用を促すことにより、医療費の適正化につなげる
対象者	蕨市国保被保険者のうち、生活習慣病に係る薬剤をジェネリック医薬品に切り替えた場合の自己負担額の削減効果が 100 円以上の人
概要	・レセプトデータから得られた情報により、ジェネリック医薬品を利用した場合の差額やコールセンターの案内を掲載し、ジェネリック医薬品の利用を促す ・埼玉県国民健康保険団体連合会に委託し、年2回(4月と10月)送付する

#### 評価指標 アウトプット アウトカム ・ジェネリック医薬品の数量シェア • 発送数(R2年4月までは削減効果300円以上) 【長期目標】80.0%以上 4月 10月 合計 数量シェア H30 379 件 286 件 665件 78.1% H30 226 件 477 件 R1 251 件 76.8% R1 197件 342 件 539 件 R2 79.4% R2 R3 269 件 265件 534 件 R3 80.6% 221件 247 件 R4 468 件 R4 81.2% **R5** 195件 194件 389 件 R5 未定 (出典) 医療保険課資料 (出典) 埼玉県国民健康保険団体連合会「後発医薬品 数量シェア等の推移」

# (2) ジェネリック医薬品希望シール配布 H22年度~

所 属	市民生活部 医療保険課(一部委託で実施)
目的	ジェネリック医薬品に関する正しい知識を啓発し利用を促すことにより、医療費
עם 🗀	の適正化につなげる
対象者	蕨市国保被保険者
	•被保険者証更新時などに同封してジェネリック医薬品希望シールを送付するほ
概要	か、国保加入時に窓口で配布し、ジェネリック医薬品の利用を促す
	• 埼玉県国民健康保険団体連合会に委託し、シールを作成する

#### 評価指標

#### アウトプット

・配布数(被保険者証更新時発送分のみ)

	配布数				
H30	12,481 件				
R1	12,159 件				
R2	11,845 件				
R3	11,782 件				
R4	11,598 件				
R5	11,132 件				

(出典) 医療保険課資料

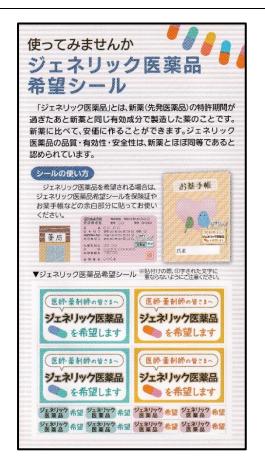
## アウトカム

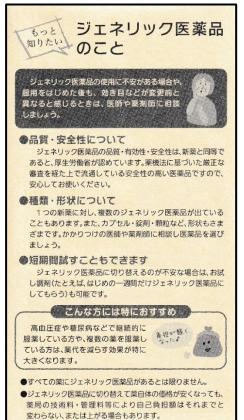
ジェネリック医薬品の数量シェア 【長期目標】80.0%以上

	数量シェア	順位**
H30	78.1%	18 位
R1	76.8%	29 位
R2	79.4%	29 位
R3	80.6%	21 位
R4	81.2%	22 位
R5	未定	未定

※順位は 40 市中です。

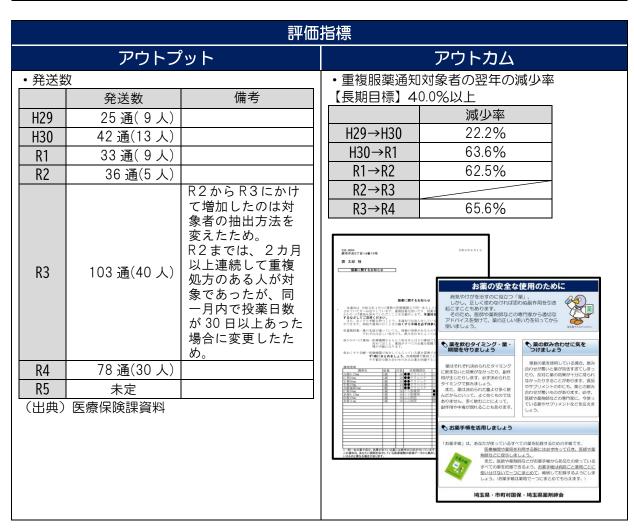
(出典) 埼玉県国民健康保険団体連合会「後発医薬品 数量シェア等の推移」





# (3)重複服薬者通知 H29年度~

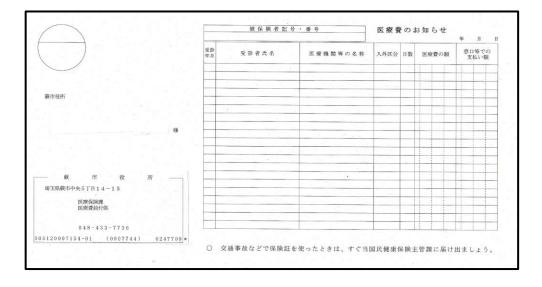
所属	市民生活部 医療保険課							
目的	適正受診を促し、医療費適正化につなげる							
	<ul><li>平成 29 年度~令和2年度:</li></ul>							
	蕨市国保被保険者のうち、3 つ以上の医療機関から 2 か月以上連続して							
	同一名または同一効果の薬が投薬日数 30 日を上回って処方されている人							
	• 令和3年度							
対象者	蕨市国保被保険者のうち、3 つ以上の医療機関から重複処方が発生している							
刈多白	受診者の内、月内で同一名または同一効果の薬が投薬日数 30 日を上回って処							
	方されている人							
	• 令和4年度~令和5年度							
	蕨市国保被保険者のうち、3 つ以上の医療機関から重複処方が発生している							
	受診者の内、月内に薬価番号及び薬効分類が同一の薬の重複服薬がある人							
#W ##	• 重複投薬の危険性や投与されている薬と投薬日数などを記載し、かかりつけ医							
概要	や薬局に提示するように勧める通知を送付する							



# (4)医療費通知

所 属	市民生活部 医療保険課(委託で実施)
目的	診療に関する費用等を通知することにより、医療費への意識付けを図り、医療費
מם 🗀	の適正化につなげる
対象者	蕨市国保被保険者
	• 受診月、医療機関名、受診日数、医療費総額、自己負担額等を世帯主に通知
概要	する
	・埼玉県国民健康保険団体連合会にて作成し、年6回送付する

評価指標							
	アウトプッ	٢	アウトカム				
• 配布娄	女		・一人当たり医療費				
	発送数			一人当たり医療費			
H28	58,697 件		H28	284,493 円			
H29	53,389 件		H29	283,233 円			
H30	52,254 件		H30	288,707 円			
R1	50,135 件		R1	285,101 円			
R2	47,298 件		R2	267,522 円			
R3	48,096 件		R3	302,997 円			
R4	48,037 件		R4	315,822 円			
R5	未定		R5	未定			
				(P28:図表 18参照)			

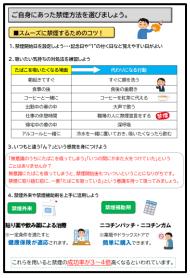


# (5) 禁煙支援 R3年度~

所 属	市民生活部 医療保険課
	喫煙は生活習慣病の発症に起因することから、禁煙外来や禁煙補助薬の使用を勧
目的	奨することで、禁煙による生活習慣病の発症を予防し、医療費適正化につなげる。
÷+6-*	蕨市国保被保険者の内、当該年度に特定健診を受診した者で問診の際に喫煙して
対象者	いると回答した者
概要	・禁煙のメリットを案内し、禁煙外来や禁煙補助薬の使用を勧奨する通知を送付
<b>恢</b> 安	している。

評価指標							
アウトプット	アウトカム						
・送付数         R3       454 人         R4       406 人         R5       未定         (出典) 医療保険課資料	・特定健診の質問票による喫煙者の減少率  ① 当該年度の特定健診受診の際、質問票に喫いしていると回答した人で、禁煙通知送付時及び翌年の評価時点(R5.3.31)で国保資がある人数 ② ①の内、次年度の特定健診を受診の際に質問票に喫煙していないと回答した人数。						
	①     ②     減少率       R3 送付者     420 人     28 人     6.7%       (出典) 医療保険課資料						







# 5 目的・目標の達成状況・・・・・・・・・・・・・・

# (1)目的の達成状況

〈指標と目標〉 P13 再掲

指標		ベースライン ①~③H28 ④~⑥H27	最終評価 ①~③R4 ④~⑥R3	目標	評価	要因
①総医療費		54.7 億円	52.0 億円	減少	減少	被保険者数の 減少
②前年と比較した被保険者 全体の一人当たり医療費	市	△1.5%	4.2%	県の 伸び率	増加	コロナ禍によ る受診控えの
の伸び率 ※1	県	1.2%	2.3%	以下	×	反動
③前年と比較した前期高齢 者の一人当たり医療費の	市	△2.7%	4.1%	県の 伸び率	増加	多疾患を抱え た高齢者の増
伸び率 ※1	県	△1.0%	2.5%	以下	×	加加加
(参考) 被保険者全体の一人当たり	市	284,493 円 (2 位)	315,822 円 (1 位)		_	_
医療費 ※2	県	324,619 円	367,415 円		-	
(参考) 前期高齢者の一人当たり	市	517,386 円 (60 位)	561,960 円 (57 位)		_	_
医療費 ※2	県	479,788 円	509,810 円		-	_
④平均寿命 <sup>25</sup>	男	83.36 歳	84.13 歳	延伸	延伸 〇	保健事業の 効果
3753m	女	88.63 歳	89.52 歳	延叶	延伸	
⑤健康寿命 <sup>26</sup>	男	81.86 歳	82.74 歳	延伸	延伸	保健事業の
 	女	85.15 歳	86.23 歳	<b>严</b> 押	延伸	効果
@05 #/##########	男	16.86 年 (50 位)	17.74 年 (50 位)	延伸	延伸	保健事業の
⑥65 歳健康寿命 <sup>27</sup> ※2	女	20.15 年 (25 位)	21.23 年 (8 位)		延伸 〇	効果

(出典)総医療費・1人当たり医療費: 国民健康保険事業状況(令和4年度は速報値) 平均寿命・健康寿命: 埼玉県衛生研究所作成「埼玉県健康寿命算出ソフト 健寿君」 (平成27年、令和3年)

※1 一人当たり医療費は、医療の高度化等に伴い達成が見込めないことから中間評価時に見直しし、計画全体の目的である「医療費適正化」の指標として設定しました。最終評価では県の伸び率との比較で評価することとしています。

※2 順位は 63 市町村中の順位となり、順位が上位にある程被保険者全体及び前期高齢者一人当たりの医療費は低くなります。65 歳健康寿命は順位が上位にある程、長くなります。

<sup>&</sup>lt;sup>25</sup> ④⑤では、P21 図表 12 の 65 歳平均余命や 65 歳健康寿命に 65 年加算して記載しています。

<sup>&</sup>lt;sup>26</sup> 「健康寿命」とは、単なる生存ではなく、生活の質を考慮し、「あと何年、自立して生きられるか」を示した 期間のことです。

<sup>&</sup>lt;sup>27</sup> 埼玉県では「65 歳健康寿命」を、65 歳に達した県民が健康で自立した生活を送ることができる期間として 定義し、具体的な算定の方法として介護保険制度の「要介護2以上」になるまでの期間を算定しています。

# (2)目標の達成状況

#### 〈指標と目標〉

- ・県内順位が分かる指標は、63 市町村中の順位を()、40 市中の順位を【]内に示しています。 値が小さいほど、良い順位であることを表しています。
- ・評価の $\triangle$ は、ベースラインより改善したが、長期目標を達成できなかったことを表しています。

	指標	ベース ライン H28	最終評価 (R4)	目標	評価	要因
	①特定健診受診率	<b>41</b> .1% (23 位)	39.2% (42 位)	60.0%以上 (国目標)	低下 ×	コロナ禍に よる受診控え
	②特定健診3年間未受診率	51.4%	53.4%	47.0%以下	増加 ×	コロナ禍に よる受診控え
⟨1⟩	③特定健診3年間継続受診率	26.5%	23.8%	30.0%以上	低下 ×	コロナ禍に よる受診控え
	④特定健診の早期受診率 (※)	34.5%	43.6%	40.0%以上	増加	早期受診 キャンペーン による効果
	⑤特定健診に相当する結果提供 による特定健診受診率への貢 献度(本人・医療機関・職場)	1.39% ※H29	0.73%	1.5%以上	低下 ×	コロナ禍に よる受診控え
⟨2⟩	   ①特定保健指導実施率 	5.5% (62 位)	15.8% (36 位)	60.0%以上 (国目標)	増加 △	事業の委託
	②特定保健指導出現率	13.7%	13.1%	10.0%以下	改善 △	特定保健 指導の効果
(3)	①糖尿病未治療者の治療の 開始率	19.7% ※H29	28.9%	30.0%以上	増加	通知等による受 診勧奨だけでは 行動変容に繋が りにくい
<b>4</b> >	①ジェネリック医薬品の 数量シェア	70.1% 【17 位】	81.2% 【22位】	80.0%以上 (国目標)	向〇	周知の効果
	②重複服薬の通知を送付した者 の翌年の減少率	22.2% ※H30	65.6%	40.0%以上	向上	周知の効果

(※)「8月までの特定健診受診率」としていましたが、新型コロナウイルス感染症が蔓延し緊急事態宣言が発出されたため特定健診開始時期が遅れ、9月~2月までの実施となったR2年度は11月までの受診、新型コロナウイルス感染症感染防止のため完全予約制とし、実施期間を6月~2月までと延長したR3~R4年度は、9月までの受診を「早期受診」としています。

- 〈1〉特定健診受診率向上対策
- 〈2〉特定保健指導実施率向上対策
- 〈3〉糖尿病性腎症重症化予防対策
- 〈4〉医療費適正化対策